

ZAPPALLAS

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 3770

いいかぶ 検索 Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信 kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。 **ご回答いただいた方の中から抽選で薄給(図書カード500円)を贈呈させていただきます。**

※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30) 「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

株主メモ

事業年度 5月1日から翌年4月30日まで

株主確定基準日 4月30日  
(定時株主総会・期末配当金)

中間配当基準日 10月31日

定時株主総会 7月中

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081

【お問い合わせ先】  
郵便物送付先 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

公告の方法 電子公告により行う。(ただし電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。) (<http://www.zappallas.com/ir/04.html>)

ZAPPALLAS [www.zappallas.com](http://www.zappallas.com)



Always on Your Side

ZAPPALLAS  
2008 The 9th  
Business Report



証券コード：3770

第9期 | 株主通信

2007年5月1日から2008年4月30日まで

## To Our Shareholders

株主の皆さまへ



スギヤマ マサノリ  
代表取締役会長兼社長 杉山 全功

### マーケットの拡大を追い風に 次なるビジネスステージへ

モバイル市場は変化とともに拡大を続けています。こうした大きなうねりを追い風とすべく、当社では、205.1万人(2008年4月末現在)のコンテンツ会員を対象としたデータベース・マーケティングやニーズに合致したコンテンツや商品の企画、それを支える社内の体制づくりを重点施策として掲げ、全社一丸となって取り組んで参りました。

デジタルコンテンツ事業では、占いに次ぐ新ジャンルのコンテンツも積極投入するとともに、ダウンロード課金の推進により単価の上昇を志向。モバイルコマース事業においては、商品構成の最適化により利益率を向上させ、恒常的な黒字化が実現可能なビジネスモデルを構築しました。

これらの施策が功を奏した結果、2008年4月期は、売上高8,550百万円(前連結会計年度比23.2%増)、営業利益1,870百万円(同49.5%増)、経常利益1,882百万円(同50.3%増)、当期純利益1,027百万円(同54.6%増)と大幅な増収増益を達成することができました。

モバイルコンテンツからスタートした当社の第1ステージも、そろそろ実を結びつつあります。来期においては、これまで培ってきたノウハウと205.1万人のコンテンツ会員をかけがえのない資産として、次なるビジネスステージへと歩を進めていく所存です。今後も引き続き温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## Talk between President Sugiyama and President Ohtake

杉山全功会長兼社長と大竹のり子社長の対談 ～モバイル市場の変化とザッパラスの今後の成長戦略～



大竹: 本日はよろしくお願ひします。

杉山: こちらこそ、よろしくお願ひします。

大竹: 杉山会長兼社長とこうしてお話するのは中間期の株主通信での対談以来ですが、その間にモバイル市場はすいぶんと変化を遂げたように思います。こうした変化について、どのように受け止めていらっしゃいますか？

杉山: モバイル業界にとって、この半年間の大きな出来事といえば、やはりフィルタリングの問題と料金の値下げ競争でしょうか。

大竹: フィルタリングの問題については、各キャリアの対応が大きな話題を呼びましたね。実際のところ、御社が事業戦略を推し進めるうえでの影響はあったのでしょうか？

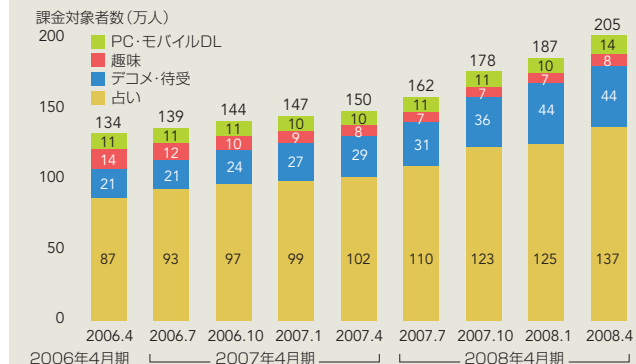
杉山: 当社は公式コンテンツがメインですし、どれも優良なコンテンツばかりですから、ほとんど影響を受けていません。それに、ちょっと前までは、いわゆる“勝手サイト”の全盛期が始まることで公式コンテンツが廃れていくのではと危惧されていた面もあったのですが、フィルタリングの問題が起こったことで、

公式コンテンツに対する評価も高まりました。結果的には、大きな追い風になったように感じています。

大竹: 料金の値下げ競争についてはいかがでしょうか？

杉山: こちらは影響が大きくて、もちろん、プラスの意味ですが、モバイルユーザーにとって料金の値下げは喜ばしいことだと思いますが、負担が軽くなった分だけそっくり節約しているのかというと、どうやらそうではないんです。その分を「着うた」やゲームをはじめとする有料コンテンツのダウンロードに使う人が増えている。そうした傾向は統計などにも表れ始めています。

ザッパラス有料コンテンツ会員数の推移



## Talk between President Sugiyama and President Ohtake

杉山全功会長兼社長と大竹のり子社長の対談 ～モバイル市場の変化とザッパラスの今後の成長戦略～



**大竹:**環境が大きく変化しても、コンテンツのマーケットは着実に拡大している、ということですね。

**杉山:**古いコンテンツのマーケットも拡大の余地はまだあります。それに、コンテンツ業界はこれから第三隆盛期に入るのではないかと認識しています。第3世代、第3.5世代の携帯端末の普及に伴って、コミュニケーション系のコンテンツが急激に広がるのではないのでしょうか。

**大竹:**コミュニケーション系というと……？

**杉山:**ブログやSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)、そして、当社が現在、注力しているデコメ(デコレーションメール)もそうですね。これらは、今までのコンテンツのマーケットを凌駕するのではないかと期待しています。



**大竹:**これまでコンテンツ事業の中核をなしていた古いコンテンツ以外にも、下期には『ヒルズの恋人』などのゲームコンテンツをいくつか投入されたようですが。

**杉山:**最初は、マーケットで圧倒的な優位性があった古いコンテンツに一点集中して切り込んだわけですが、そろそろ次の段階として別のジャンルに取り組む時期に来ていると考えています。そのひとつが、占いと同じF1層(25歳～34歳の女性層)をターゲットにした恋愛シミュレーションゲームというわけです。

**大竹:**手応えはいかがですか？

**杉山:**お陰さまで、占いコンテンツの新規投入に比べても遜色なく順調に会員数が伸びています。

**大竹:**素晴らしいですね。複数のジャンルのコンテンツでポートフォリオを構築することで、より安定した成長をめざす。資産運用でも見習わなければ(笑)。

### Game Contents

#### ヒルズの恋人



#### サービスの概要

- コンテンツ名称  
ヒルズの恋人
- サービス提供先  
株式会社NTTドコモ / iモード®
- 課金体系  
月額315円(税込)
- アクセス方法  
i Menu > メニュー/検索 >  
ゲーム > シミュレーション >  
ヒルズの恋人

当社のモバイル市場で培ったノウハウを活かし、モバイルゲーム市場に「F1層向けゲーム」という新たなマーケットの創造を企図したものです。

『ヒルズの恋人』は、架空スポット「七本木」のIT企業を舞台に、ユーザーである主人公が運命の恋をつかむまでの2週間を描く、女性向けの恋愛シミュレーションゲームです。

**大竹:**コンテンツから少し視野を広げて、事業全体でのポートフォリオ戦略としてはいかがでしょうか？

**杉山:**当社が中期的に成長していくために必要なポートフォリオのひとつとして位置付けているのがコマース関連事業です。12月には、無料の古いコンテンツの中に『幸運カムカム堂』というショッピングコーナーを開設しました。

**大竹:**どんなものを販売されているのですか？

**杉山:**風水アイテムや天然石のプレスレットなど、占いと関連の深い商品が中心です。利益率の高い商品を扱っているので、出だしはとても好調です。

**大竹:**ほかにはどのようなポートフォリオを？

**杉山:**ワンセグ連動型のeコマースやブロードバンドの動画コンテンツなど「ワンセグ」や「動画」をキーワードにしたビジネスに注力していきたいですね。それから、広告ビジネス、ソリューション・ビジネスです。

**大竹:**広告ビジネスについては、すでにトランス・コスモスと資本・業務提携をいらっしゃいますね。

**杉山:**ソリューション・ビジネスについてもJR東日本企画の「Suica.jp(スイカ・ジェイビー)」の企画やコンテンツ・アグリゲーションをスタートしています。今後もこうしたアライアンス戦略を積極的に推進していくことで、可能性を広げていきたいですね。

**大竹:**すでに次なるビジネスステージへの布石は万全ということですね。これからのさらなる飛躍を楽しみにしています。

## Talk between President Sugiyama and President Ohtake

株式会社エフピーウーマン  
代表取締役 大竹のり子

#### ●Profile

1975年生まれ。大学卒業後、書籍の編集者を経てファイナンシャルプランナーとして独立。2005年にエフピーウーマンを設立。個人投資家と金融業界の架け橋となるべく、執筆、講演、テレビ・ラジオへの出演など多方面で活躍している。『知識ゼロからのネット株入門』(ダイヤモンド社)、『一番やさしく株がわかる』(西東社)など著書は20冊以上に及ぶ。

株式会社ザッパラス  
代表取締役会長兼社長 杉山 全功

#### ●Profile

1965年生まれ。1988年関西大学法学部卒業後、ダイヤル・キュー・ネットワーク取締役に就任し、音声を活用したコンテンツビジネス事業の立ち上げに参画する。シンフォレストで専務取締役、インデックスで経営企画室長など、他メディアでのコンテンツ業界を経て、2004年にザッパラス代表取締役社長に就任。2007年7月より会長職を兼務し、現在に至る。



# Key Indicators

重要な経営指標

## Point 1

### 有料コンテンツ会員数

ザッパラスグループは、魅力的なコンテンツの継続的な投入と既存コンテンツの底上げによる顧客満足度の最大化を通じて入会率の向上に努めています。2008年4月末現在の有料コンテンツ会員数は205万人に達し、前期末との比較で54万人の大幅増加を達成しました。モバイル向けコンテンツの種類別では、「占い」が137万人、「デコメ・待受」が44万人、「趣味」が8万人となっています。また有料コンテンツ会員の中心は市場牽引力の強いF1層で、ザッパラスグループが強固な顧客基盤を形成している一因となっています。

ザッパラスグループの有料コンテンツ会員数は、過去の業績において、四半期ベースで見ても一度の減少もなく一貫して増加基調を維持しています。これは主として、退会するお客さまが少ないため、新たなコンテンツの投入によって獲得した新規のお客さまが会員数の上乗せ分になっていることによるものです。

## Point 2

### コマース関連事業売上高

2008年4月期におけるコマース関連事業の売上高は、前連結会計年度比5.4%増の1,655百万円となりました。ザッパラスグループは収益源の多様化を図るためコマース関連事業の拡大に注力しており、当期はこの取り組みが大きく前進した年度となりました。

コマース関連事業はモバイルコマース事業と携帯電話販売事業の2つに分けられます。主力であるモバイルコマース事業では、『キレイ革命』、『ブランドアウトレット』、『スイーツの王様』など合計20の公式サイトを運営しており、お客さまの潜在ニーズに応える商品開拓と効率的な集客による売上拡大に努めています。2007年12月には、iモード®向けに配信しているメニューサイト内に、風水インテリアなどを扱うショッピングコーナー「幸運カムカム堂」を開設しました。今後も自社ショップの展開やリアル店舗との提携も視野に入れながらオンラインショップの新たな可能性を追求していきます。

## Point 3

### 売上高経常利益率

ザッパラスグループは企業の収益力を端的に示す経営指標として売上高経常利益率を重視し、常に10%以上を維持できる体制の確立をめざしています。2008年4月期の売上高経常利益率は4.0ポイント向上して22.0%となりました。これはデジタルコンテンツ事業において良質かつ収益性の高いコンテンツを多数投入したこと、並びにコマース関連事業で収益の改善が見られたことなどによるものです。

ザッパラスグループはこれまで売上原価率の抑制に努めるとともに、商品の企画・制作における効率化とシステム化を推進してきました。その結果、売上高経常利益率の伸長率が売上高の増加率を恒常的に上回る高収益モデルを構築できました。今後も積極的にコンテンツの投入を進める一方、モバイル広告ビジネスなど新事業の伸展を通じて売上高の拡大を図り、高収益体質の一層の強化を実現していきます。

## Point 4

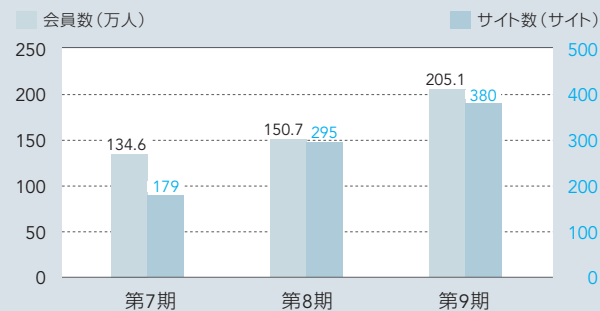
### 新規投入サイト数

2008年4月期は、モバイルコンテンツ73サイト、PCコンテンツ37サイトを、合計110サイトを投入しました。その結果、当期末の提供総サイト数は前期末より85サイト増加し380サイトとなりました。

ザッパラスグループがトップシェアを有しているモバイル向け占いコンテンツについては、『運命の3人』や『前世からの約束』等当期に48サイトを投入し、ラインアップのさらなる強化を図りました。一方、占い以外の分野でも、女性向けの恋愛シミュレーションゲーム『ヒルズの恋人』をリリースしたほか、多彩なデコメール素材を提供する『どうぶつデコメ』や『恋を叶えるデコメ』の配信を開始するなど、コンテンツの多様化を進めました。

2009年4月期は、高いクオリティを維持しながら新規サイトを大量投入するという方針のもと、モバイルとPCを合わせて97サイトの投入を予定しています。

#### 会員数及びサイト数



#### 主要ショッピングサイト

**キレイ革命**

彩り桜石けん

パーフェクトBBクリームミニ

**ブランドアウトレット**

【COACH】  
オブテック  
シグネチャー/  
41258 SI YRA

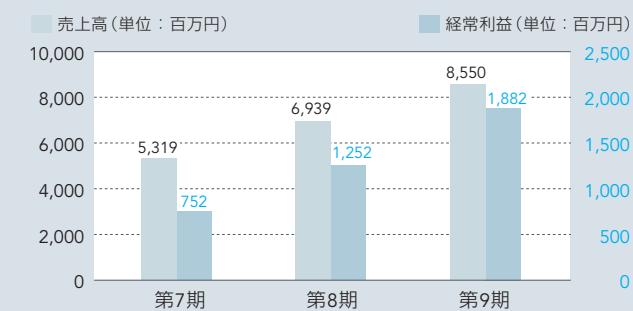
【DOLCE  
SEGRET0】  
ペアウォッチ/  
OP300SV&  
OP301BK

**スイーツの王様**

【胡蝶庵】  
とろける  
抹茶生大福

【パティスリー福垣】  
シエフのディアミス

#### 売上高及び経常利益



#### 提供サイト



# Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

## ■ 貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

科目	当期	前期
	2008年4月30日現在	2007年4月30日現在
資産の部		
流動資産	5,544,084	4,098,072
固定資産	1,161,167	1,410,838
有形固定資産	115,598	150,052
無形固定資産	412,595	982,674
投資その他の資産	632,973	278,110
資産合計	6,705,252	5,508,910

(単位：千円)

科目	当期	前期
	2008年4月30日現在	2007年4月30日現在
負債の部		
流動負債	1,725,566	1,388,915
負債合計	1,725,566	1,388,915
純資産の部		
株主資本	4,949,894	4,077,278
資本金	1,421,443	1,396,243
資本剰余金	1,346,818	1,321,618
利益剰余金	2,181,632	1,359,416
少数株主持分	29,791	42,716
純資産合計	4,979,686	4,119,995
負債純資産合計	6,705,252	5,508,910

## ■ 損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	当期	前期
	自 2007年5月 1 日 至 2008年4月30日	自 2006年5月 1 日 至 2007年4月30日
売上高	8,550,993	6,939,474
売上原価	3,459,687	3,155,176
売上総利益	5,091,305	3,784,297
販売費及び一般管理費	3,220,378	2,533,073
営業利益	1,870,927	1,251,224
営業外収益	16,246	16,393
営業外費用	4,655	14,855
経常利益	1,882,519	1,252,762
特別利益	29,723	208
特別損失	53,450	42,154
税金等調整前当期純利益	1,858,792	1,210,816
法人税、住民税及び事業税	876,750	602,017
法人税等調整額	△39,674	△41,747
少数株主損失(△)	△6,099	△14,206
当期純利益	1,027,815	664,753

## ■ キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

科目	当期	前期
	自 2007年5月 1 日 至 2008年4月30日	自 2006年5月 1 日 至 2007年4月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,243,778	859,343
投資活動によるキャッシュ・フロー	△651,155	△318,018
財務活動によるキャッシュ・フロー	△154,233	△69,429
現金及び現金同等物の増減額	438,389	471,895
現金及び現金同等物の期首残高	2,441,966	1,970,070
現金及び現金同等物の期末残高	2,880,355	2,441,966

## ■ 株主資本等変動計算書(要旨) 当期(自2007年5月1日至2008年4月30日)

(単位：千円)

	株主資本				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計		
2007年4月30日 残高	1,396,243	1,321,618	1,359,416	4,077,278	42,716	4,119,995
連結会計年度中の変動額						
新株の発行	25,200	25,200		50,400		50,400
剰余金の配当			△205,600	△205,600		△205,600
当期純利益			1,027,815	1,027,815		1,027,815
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					△12,924	△12,924
連結会計年度中の変動額合計	25,200	25,200	822,215	872,615	△12,924	859,690
2008年4月30日 残高	1,421,443	1,346,818	2,181,632	4,949,894	29,791	4,979,686

# Non-Consolidated Financial Statements

## 単体財務諸表

### ■ 貸借対照表 (要旨)

(単位: 千円)

科目	当期 2008年4月30日現在	前期 2007年4月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	5,400,972	3,729,126
固定資産	1,332,450	1,609,246
有形固定資産	79,983	94,685
無形固定資産	170,430	182,190
投資その他の資産	1,082,036	1,332,370
資産合計	6,733,422	5,338,373
<b>負債の部</b>		
流動負債	1,649,255	1,226,927
負債合計	1,649,255	1,226,927
<b>純資産の部</b>		
株主資本	5,084,167	4,111,445
資本金	1,421,443	1,396,243
資本剰余金	1,346,818	1,321,618
利益剰余金	2,315,905	1,393,583
純資産合計	5,084,167	4,111,445
負債純資産合計	6,733,422	5,338,373

### ■ 損益計算書 (要旨)

(単位: 千円)

科目	当期 自2007年5月1日 至2008年4月30日	前期 自2006年5月1日 至2007年4月30日
売上高	7,543,781	5,691,891
売上原価	2,744,577	2,373,261
売上総利益	4,799,203	3,318,629
販売費及び一般管理費	2,914,677	2,045,287
営業利益	1,884,526	1,273,342
営業外収益	17,492	3,644
営業外費用	4,539	12,660
経常利益	1,897,480	1,264,326
特別利益	29,541	1,905
特別損失	2,573	40,154
税引前当期純利益	1,924,448	1,226,077
法人税、住民税及び事業税	833,980	560,534
法人税等調整額	△37,453	△43,557
当期純利益	1,127,921	709,099

### ■ 株主資本等変動計算書 (要旨) 当期 (自2007年5月1日 至2008年4月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 その他利益剰余金 繰越利益剰余金	株主資本合計	
2007年4月30日 残高	1,396,243	1,321,618	1,393,583	4,111,445	4,111,445
事業年度中の変動額					
新株の発行	25,200	25,200		50,400	50,400
剰余金の配当			△205,600	△205,600	△205,600
当期純利益			1,127,921	1,127,921	1,127,921
事業年度中の変動額合計	25,200	25,200	922,321	972,721	972,721
2008年4月30日 残高	1,421,443	1,346,818	2,315,905	5,084,167	5,084,167

# Corporate Data

## 会社案内 (2008年4月30日現在)

### ■ 会社の概況

会社名	株式会社ザップラス
住所	東京都渋谷区恵比寿一丁目19番19号
資本金	14億2,144万3,600円
設立	2000年3月
事業年度	5月1日から翌年4月30日まで
従業員	連結139名
子会社	株式会社ジープラス

### ■ 役員 (2008年7月30日現在)

代表取締役会長兼社長	杉山 全 功
専務取締役	山崎 浩 史
取締役	森 春 之
取締役	松本 浩 介
社外取締役	田中 奉 文
常勤監査役	山口 豊 義
監査役	井上 昌 治 (弁護士)
監査役	濱村 則 久 (公認会計士)

### ■ 株式の状況

発行可能株式総数	190,000株
発行済株式の総数	131,020株
株主数	3,707名
大株主の状況	

順位	株主名	持株数(株)	持株比率(%)
1	玉置 真理	27,020	20.62
2	三木谷 浩史	14,930	11.39
3	ネットキャピタルパートナーズリミテッド	12,050	9.20
4	バンクオブニューヨークシーエムクライアントアカウン トジェイビーアールティアイエスジーエフイーエイシー	5,138	3.92
5	佐藤 和利	5,024	3.83
6	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	4,738	3.62
7	日本マスタートラスト信託銀行株式会社	4,697	3.58
8	杉山 全功	3,060	2.33
9	モルガスタンレーアンドカンパニーインターナショナルビルシー ステートストリートバンクアンドトラストクライアントオムニ バスアカウントオーエムゼロツウ	2,975	2.27
10		2,900	2.21

### 株式の分布状況

